

# 災害発生時（地震等）の児童生徒の引き渡しについて

## 1 災害時の帰宅・学校待機・児童生徒の引き渡しの判断について

地震に関する注意情報・予知情報（警戒宣言）が発令された場合と震度5弱以上の地震やゲリラ豪雨等の災害が発生した場合は、その災害の規模や被害の状況により、児童生徒を下校させるか、保護者に引き渡すか、学校待機にするかを判断する。

大きな災害時は電話が不通になる等、連絡が取りにくくなることが予想される。家庭から学校への問い合わせは、電話が混雑し緊急連絡にも支障をきたすので、「災害有時の緊急連絡方法」（別紙）を配布し、保護者に周知する。学校としては、災害伝言ダイヤル、ラクメ、ホームページ、電話等で情報発信する。

## 2 引き渡しについて

地震に関する注意情報・予知情報（警戒宣言）が発令された場合と震度5弱以上の地震が発生した場合、通学生の保護者には児童生徒を迎えに来てもらう。寄宿舎生の保護者には学校から連絡を入れる。迎えに際しては、二次災害の恐れがある場合や危険が予想される場合は、安全が十分に確認できてから迎えに来てもらうよう伝える。帰宅困難な状況になった場合は学校で保護する。

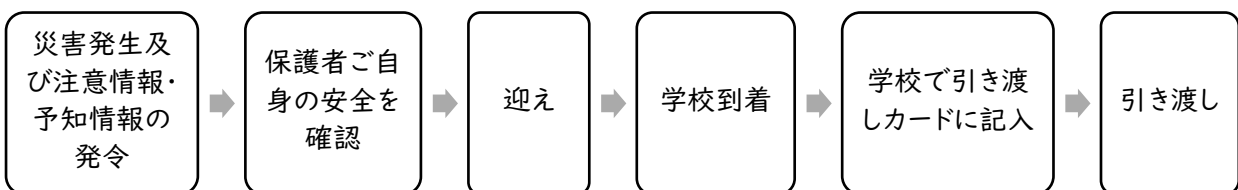
**合言葉は「震度5で学校へゴー」（ただし安全最優先!）**

## < 引き渡しの手順 >

災害時の引き渡しは、以下の手順で引き渡しを行う。

引き渡し後に安全な帰宅が難しい場合は、安全のため学校へ留まることも可能とする。

### 【通学生】



### 【寄宿舎生】



# 災害有事の緊急連絡方法について

## 1 災害有事の緊急連絡方法について

本校の電話は、「災害時優先電話」になっており、学校からの電話連絡がしやすくなっています。また災害伝言ダイヤル(下記参照)や学校ホームページも活用して情報発信を行います。ただし、停電などライフラインに問題が生じた場合は復旧し次第の情報発信となりますのであらかじめご了承ください。学校での待機が必要となる場合は、安全な場所で待機します。

## 2 学校の伝言ダイヤルの聞き方について

災害発生により電話規制がかかった場合は、学校よりNTT西日本の「災害用伝言ダイヤル(171)」にて安否情報を録音します。学校の状況を知りたい方は、伝言ダイヤルの音声ガイダンスにしたがって、伝言情報を聞いてください。また、学校へ電話連絡ができない場合は災害伝言ダイヤルを利用して安否、被害状況を録音してお知らせください。